



## 『腐らん病』散見。園内の点検は必ず実施して下さい。

6月に入ると病斑進展が最大となるとともに孢子飛散が始まり、せん定等の傷口からの感染が最大化します。5月中に園地を点検し、病斑部を見つけ次第、切り取り・削り取り等の抑制処理を進め腐らん病を一掃してください。

- 「病斑」を放置しておく、園内の感染拡大だけでなく、他園地へも被害をもたらします。
- 栽培をやめた場合は、病害虫の発生源になりますので必ず伐採・伐根してください。

### 1. 対策

- ① 園地点検を実施し早期発見に努める。
- ② 病患部を見つけ次第、切除または削り取り処理等を行なう。
- ③ 削り取った病患部や、被害枝は、園外へ持ち出して処分する。
- ④ 削り取った後、傷口に塗布剤トップジンMペーストを塗る。(腐らん病シートを巻く)

### 2. 対策資材及び価格

資材名	価格
トップジンMペースト (1 kg)	2,390 円
トップジンMペースト (200g)	770 円
フランカックスプレー (300ml)	1,530 円
腐らん病シート (30 枚入り)	1,980 円

\*腐らん病シートは傷口を削らないで水を含ませて患部に巻きつけて使用してください。

### 3. 薬剤防除

「あら摘果」終了後の定期散布にトップジン M 水和剤 1500 倍を加用する。

(りんご特報No.5 5/1 発行に掲載)



次面に「りんご仕上げ摘果講習会」通知を掲載しています

## 腐らん病の削り取り方法



【削り取り部】  
木質部の変色している部分は  
周辺の健全部を含みすべて削り取る。  
【病斑部】



～ 具体的な方法 ～

- ① 幹や枝の伸びる方向に口がつぼまるように紡すい形に切り取る。
- ② 切り口部は木質部が垂直になるようにする。
- ③ 表面の腐敗部だけでなく形成層の変色及びその周辺の健全部も削り取る。
- ④ 削り取った後は保護のためにトップジンMペーストなど塗布する。

## りんご 仕上げ摘果講習会の開催について

開催日	集合時間	集合場所	対象者
6月3日(水)	午前11時	遊湯 駐車場 (旧日野事業所跡地向かい)	全部会員
	午後1時30分	オランチェ北駐車場	全部会員
6月5日(金)	午前11時	平岡共選所	全部会員
	午後1時30分	平岡共選所	<u>新規栽培者</u>

◇ 内 容

- ① 「仕上げ摘果、着果位置のポイント」  
～1年枝、頂芽果、腋芽(えきが)果とは?～
- ② 「青玉・光玉・除去のポイント」  
～果台・果台枝に注目～
- ③ 「新梢管理のポイント」  
～7月末までに1回は新梢管理～
- ④ 「梅雨の重要病害(輪紋病、炭疽病、褐斑病)の防除ポイント」  
～雨量を把握しながら、病害対策～

第5回、第6回定期防除は、「りんご特報No.5  
(5/1発行)」に掲載しています。

次回特報発行予定 6/2  
問合せ：園芸課 23-3933